



日本共産党
北茨城市委員会
磯原町豊田1030-2
43-0468(福田)
42-2462(鈴木)

毎週 日曜日 発行
インターネットでも
ご覧いただけます。

議案提出権の活用について視察と交流

神奈川県寒川町を訪ねて

多岐に積極的提案

3月23日、日本共産党北茨城市議団は神奈川県寒川町の党町議団を訪ね、議案提出権の活用について交流してきました。



同町議団は4人。3期目の村田桂子議員が団長を務めています。年1回は必ず議案提出権を活用して市民の暮らしを守る積極的提案をおこなってきました。

これまで提案してきた条例案は、乳幼児医療費の無料化、住宅リフォーム助成制度、介護保険助成制度、巡回バス、政治倫理条例など多岐にわたります。

条例案の提出にあたって同町議団は「一般質問で何回か取り上げて要求し、財源も明らかにする。それでも実現しなかったら、議案提出権を使って自ら条例案をつくって提案する」と述べ、そのさいは「市の担当者」と相談して、いくら予算がかかっても、その予算の裏づけもはっきりさせることが重要」と語りました。

同町議団との懇談の後、村田団長、喜多村町議の案内で市内各所を見学。46億円をかけて建設された寒川総合体育館では、メインア



リーナヤトレーニングジムを多くの市民や子どもたちが利用していました。1500年の歴史を誇る寒川神社(相模国一之宮)の参道の桜並木は「味わいがあるに実がいいですよ」とは村田団長の言葉。

寒川町は湘南地方の一角でもあり、気候は温暖でハウス園芸も盛んです。帰りに団長から特産のスイトピーをいただきました。寒川町はひと足早く春の香りをただよわせるスイトピーの花のようなさわやかな町でした。(福田明記)

米軍機の轟音の下で

寒川町視察の前に、隣々接する綾瀬市の松本春男議員の案内で、厚木基地周辺も視察しました。

神奈川県内には、戦後60年にわたって何れも米軍基地が居座り続けています。なかでも厚木基地は、西太平洋で唯一の空母艦載機の前進基地であり、第5空母航空団、いわゆる「殴り込み部隊」が常駐しています。イラク戦争では空母キティホーク艦載の主力として参戦し、イラク全土にわたる空爆をおこなったとされています。

長く基地問題に関わってきた松本市議の望遠鏡で、広大な基地や戦闘機を見て

いると、これが戦争に直接つながっているのだと背筋の寒くなる思いでした。騒音問題では市当局も、

国・県に頼るだけでなく、直接米軍とも交渉を重ね、訓練の移転を要望してきたことを市制作のビデオで知ることができました。しかし、住民生活への騒音の影響は軽減されずにいます。市役所訪問中にも、何度となく頭上を飛ぶ米軍機の騒音が空に響きわたっていました。訓練内容によつては、これが間断な

く続いたり、夜間にもあつたりで、日常生活が送れるのかと本当に怒りが湧いてきます。

市役所敷地内には、平和の発信地として、かつてマッカーサー元帥が降り立ったことを記念する碑が建てられています。しかしアメリカが世界と日本で我が物顔に振る舞う現実を見ると、平和の発信どころか、戦争と暴力の悪循環を引き起こしているのが米軍そのものだと認識を強くしました。(鈴木やす子記)

常洋食品(株)が破産宣告

市内の学校給食のご飯の契約業者

大津町の常洋食品株式会社が3月30日に破産宣告を受けました。

同社は、北茨城市学校給食センターと旧十王町学校給食センターに米飯を供給してきました。さつそく契約者である県学校給食会では、米飯給食協同組合と協議の上、炊飯能力、備品、

運送能力など勘案し、日京

クリエイト(旧日立ライフ)と1年契約を結びました。また「マウントあかね」への仕出しもおこなってききましたが、そちらは急きよ、レストラン「ルピナス倶楽部」で対応しています。

学校給食などの重要な施策を民間企業に任せるといことは、突然の打ち切りといったおそれもあるわけですが、今回それが現実となりました。

